

2024年12月期第2四半期 決算説明会

2024年8月2日 鳥居薬品株式会社

AGENDA

- 2024年度第2四半期 実績
- 2024年度業績 修正予想
- ビジネスアップデート
- コーポレートガバナンスの状況
- CLOSING REMARKS

AGENDA

- **2024年度第2四半期 実績**
- 2024年度業績 修正予想
- ビジネスアップデート
- コーポレートガバナンスの状況
- CLOSING REMARKS

2024年度 第2四半期実績

■ 売上原価が増加したものの、売上高・研究開発費控除前営業利益ともに、力強く伸長

(百万円)	2024年度 第2四半期	対前年同期	
		増減額	増減率
売上高	28,309	+2,610	+10.2%
売上総利益	12,607	+678	+5.7%
営業利益	3,141	+1,630	+107.9%
研究開発費 控除前営業利益※	4,504	+580	+14.8%
四半期純利益	2,221	+1,134	+104.4%
(参考)研究開発費	1,363	▲1,050	▲43.5%

※中期経営計画の利益面の計数指標としては、将来の導入品獲得に向けて、当面は研究開発投資を積極的に実施することから、研究開発費控除前営業利益を設定しております。

売上高

- 引き続き、皮膚疾患領域及びアレルギー領域が牽引し、前年同期比二桁%の成長を実現

営業利益

- 売上原価が増加したものの、売上高が増加したことにより、増益
- 研究開発費は、前年同期に導入品に係る一時金のNogra社に対する支払い(約16億円)があったため、大幅に減少

研究開発費控除前営業利益

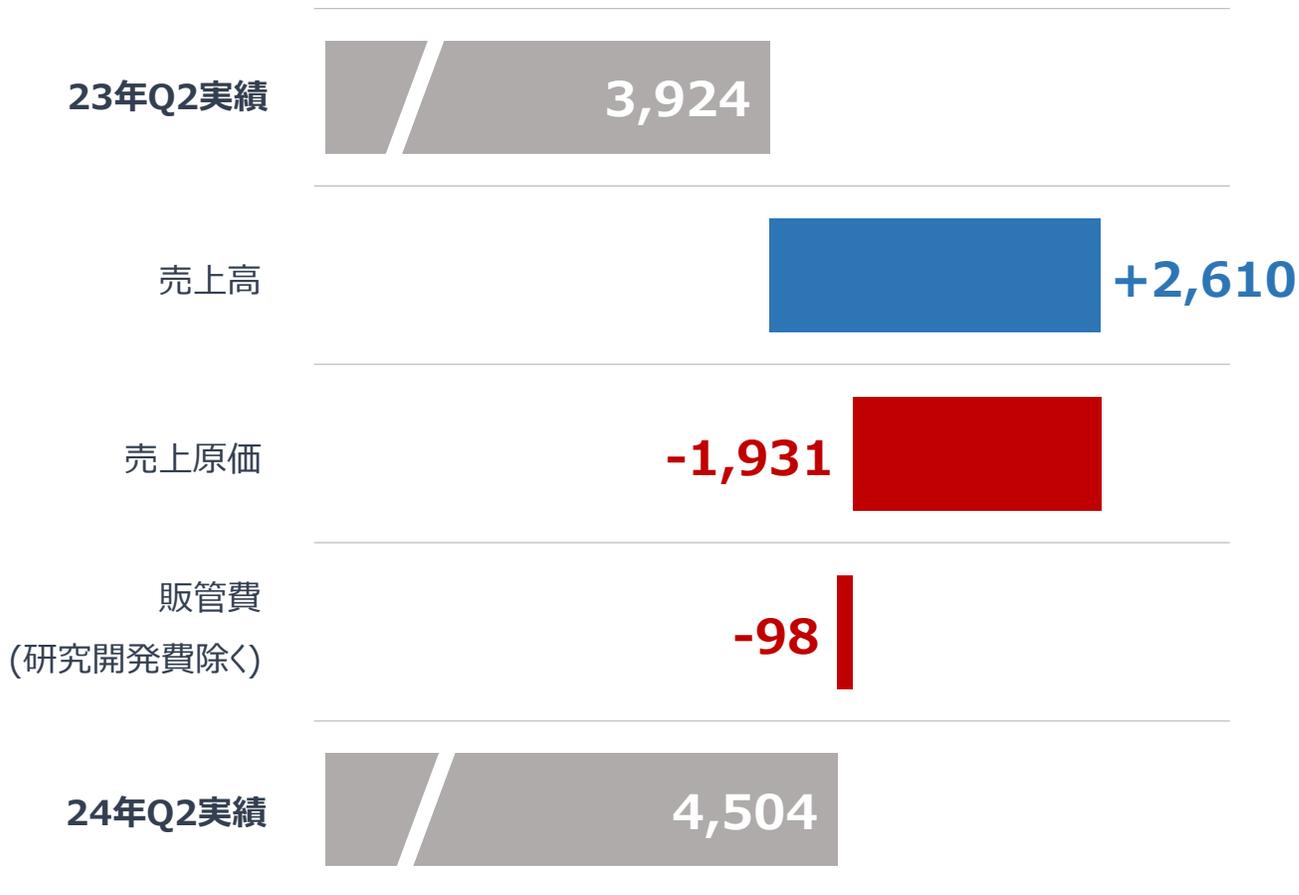
- 売上原価が増加したものの、売上高が増加したことにより、増益

四半期純利益

- 法人税及び営業外費用が増加したものの、営業利益の増益により、増益

研究開発費控除前営業利益 増減要因

(単位：百万円)



主な増減要因

(+) コレクチム軟膏、シダキュア、ミティキュア、アンテベート、リオナ錠等が牽引し、力強い数量モメンタムを継続

(-) 薬価改定等の影響
参考) 全社薬価改定率：2023年約1%、2024年1%未満

- 販売数量の増加
- 円安ユーロ高等によるネガティブな為替影響
- 仕入単価の値上げ

■ 売上高の増加に伴い、売上連動経費は増加したものの、効率的な経費執行により、前年同期と同水準

腎・透析領域、皮膚疾患領域 売上高

腎・透析領域

(百万円)	2024年度 第2四半期	対前年同期	
		増減額	増減率
腎・透析領域 売上高	5,444	▲181	▲3.2%
- リオナ錠	3,789	+296	+8.5%
- レミッチ	883	▲483	▲35.4%
- その他	771	+4	+0.6%

リオナ錠

- ネガティブな薬価改定の影響を、鉄欠乏性貧血に対する処方伸長による販売数量増加の影響が上回り、増収

レミッチ

- 後発品影響による販売数量の減少及びネガティブな薬価改定の影響により、減収

皮膚疾患領域

(百万円)	2024年度 第2四半期	対前年同期	
		増減額	増減率
皮膚疾患領域 売上高	8,225	+1,348	+19.6%
- コレクチム軟膏	4,377	+806	+22.6%
- アンテベート	2,578	+491	+23.5%
- ロコイド	921	+170	+22.8%
- その他	347	▲120	▲25.7%

コレクチム軟膏

- 小児向け処方を含む処方患者数の増加及び1人当たりの使用量の増加等により、増収

アンテベート

- 後発品からの切り替えを主因とした販売数量の増加により、増収

ロコイド

- 薬価改定のポジティブな影響及び販売数量の増加により、増収

アレルギー領域、その他領域 売上高

アレルギー領域

(百万円)	2024年度 第2四半期	対前年同期	
		増減額	増減率
アレルギー領域 売上高	11,019	+1,009	+10.1%
- シダキユア	5,753	+529	+10.1%
- ミティキユア	5,186	+500	+10.7%
- その他	79	▲20	▲20.6%

シダキユア

- 限定出荷は継続しているものの、一定数の新規患者を獲得していることから販売数量が増加したことにより、増収

ミティキユア

- 新規患者数の増加により販売数量が伸長したことから、増収

その他領域

(百万円)	2024年度 第2四半期	対前年同期	
		増減額	増減率
その他領域 売上高	3,475	+440	+14.5%
- ビオスリー	2,231	+377	+20.4%
- オラデオカプセル	830	+94	+12.8%
- その他	412	▲31	▲7.1%

ビオスリー

- ポジティブな薬価改定の影響及び整腸剤市場の拡大により、増収

オラデオカプセル

- 成長期段階にあり、新規患者数の増加により販売数量が伸長したことから、増収

AGENDA

- 2024年度第2四半期 実績
- **2024年度業績 修正予想**
- ビジネスアップデート
- コーポレートガバナンスの状況
- CLOSING REMARKS

修正予想の前提

第2四半期までの進捗

01 計画を上回る力強いトップライン

02 売上原価の増加

03 研究開発費は、概ね前回予想通りに進捗

04 販管費(研開費除き)は、概ね前回予想通りに進捗

修正予想の前提

足元の堅調なモメンタムが継続することを前提に、上方修正

- 腎・透析領域、皮膚疾患領域及びアレルギー領域において上方修正
- タピナロフ（開発番号：JTE-061、製品名：ブイタマークリーム。以下、ブイタマー）の上市は、前回予想にて織り込み済み。大きな変更はなし

厳しい環境は継続。前回予想を上回る売上原価を織り込む

- 販売数量増加に伴う数量影響を織り込む
- 為替レートの変更（前回予想：EUR=160円 ⇒ 修正予想：EUR=175円）

開発スケジュールに大きな変更なし。経費見込を精緻化

- 研究開発は、概ねスケジュール通りに進捗。経費見込の精緻化を実施

売上連動経費の増加を織り込むものの、前回予想と同水準

- 売上連動経費の修正を実施
- 各種施策の効率的な実行により、販管費(研開費除き)全体では、前回予想と同水準

2024年度業績 修正予想

■ 売上高、各利益指標ともに上方修正を実施

(百万円)	修正予想	対前回予想		対前年
		増減額	増減率	増減率
売上高	60,700	+2,100	+3.6%	+11.1%
売上総利益	26,800	+300	+1.1%	+8.1%
営業利益	6,300	+500	+8.6%	+25.1%
研究開発費 控除前営業利益※	9,500	+250	+2.7%	+11.4%
当期純利益	4,800	+100	+2.1%	+16.5%
(参考)研究開発費	3,200	▲250	▲7.2%	▲8.3%

※中期経営計画の利益面の計数指標としては、将来の導入品獲得に向けて、当面は研究開発投資を積極的に実施することから、研究開発費控除前営業利益を設定しております。

売上高

- アレルギー領域、腎・透析領域及び皮膚疾患領域が前回予想より伸長することを見込み、上方修正

営業利益

- 以下の要因のうちポジティブ影響が上回ったことにより、上方修正
 (+) 売上高の上方修正、研究開発費の減少
 (-) 売上原価の増加

研究開発費控除前営業利益

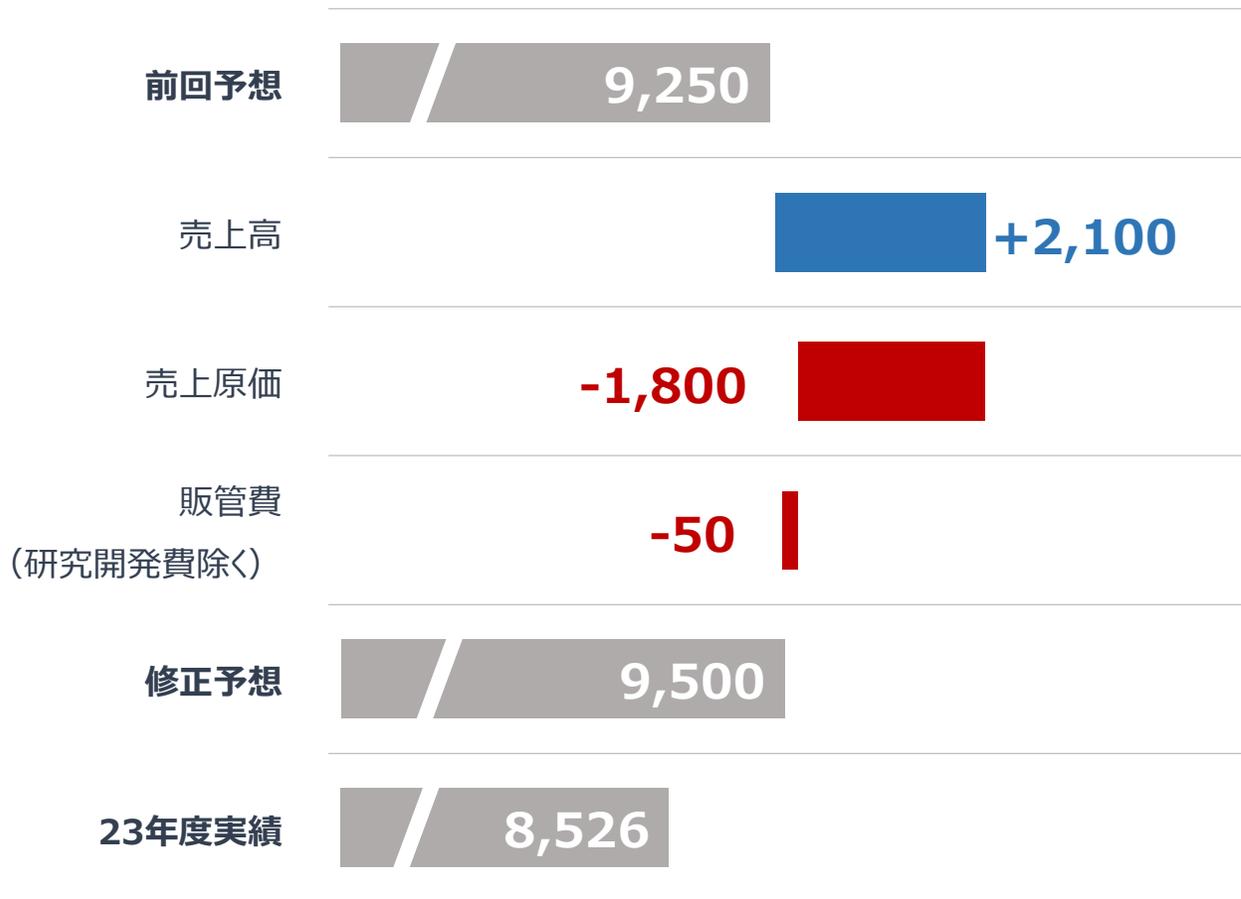
- 売上原価が増加するものの、売上高の増収により、上方修正

当期純利益

- 法人税及び営業外費用が増加するものの営業利益の増益により、上方修正

研究開発費控除前営業利益 増減要因

(単位：百万円)



主な増減要因

- シダキユア：24年内の限定出荷について変更はないものの、新規患者の獲得が前回予想の前提を上回っていることから、販売数量が増加
- リオナ錠：鉄欠乏性貧血の売上高伸長及び後発品の販売開始タイミングの前提の見直しによる増加
- 薬価改定影響等を反映
- 販売数量の増加
- 足元の動向を踏まえた、為替前提の見直し
- 売上高の増加に伴い売上連動経費は増加しているものの、効率的な経費執行により、前回予想と同水準

腎・透析領域、皮膚疾患領域 売上高

腎・透析領域

(百万円)	修正予想	対前回予想		対前年
		増減	増減率	増減率
腎・透析領域 売上高	10,920	+900	+9.0%	▲8.1%
- リオナ錠	7,590	+890	+13.3%	+1.0%
- レミッチ	1,710	▲120	▲6.6%	▲37.3%
- その他	1,620	+130	+8.7%	▲1.7%

リオナ錠

- 上半期実績を踏まえたことに加え、後発品発売タイミングの前提を見直したことにより、上方修正

レミッチ

- 長期収載品の選定療養の制度の影響を織り込んだことにより、下方修正

皮膚疾患領域

(百万円)	修正予想	対前回予想		対前年
		増減	増減率	増減率
皮膚疾患領域 売上高	17,390	+330	+1.9%	+21.9%
- コレクチム軟膏	8,680	▲120	▲1.4%	+16.5%
- アンテベート	4,980	+210	+4.4%	+9.9%
- ロコイド	1,950	+330	+20.4%	+36.6%
- その他	1,780	▲90	▲4.8%	+108.4%

コレクチム軟膏

- 力強いモメンタムは維持するものの、ブイタマー上市影響を精緻化したことにより、下方修正

アンテベート

- 上半期のモメンタムを踏まえ、上方修正

ロコイド

- 薬価改定のポジティブな影響により、上方修正

アレルギー領域、その他領域 売上高

アレルギー領域

(百万円)	修正予想	対前回予想		対前年
		増減	増減率	増減率
アレルギー領域 売上高	24,800	+1,010	+4.2%	+14.4%
- シダキユア	13,110	+500	+4.0%	+15.4%
- ミティキユア	11,530	+510	+4.6%	+13.6%
- その他	160	-	-	▲11.1%

シダキユア

- 新規患者の獲得が前回予想の前提を上回っていることから、上方修正
- 2024年内は、限定出荷を継続する見通しに変更なし

ミティキユア

- 上半期の実績を踏まえ、上方修正

その他領域

(百万円)	修正予想	対前回予想		対前年
		増減	増減率	増減率
その他領域 売上高	7,320	▲130	▲1.7%	+12.6%
- ビオスリー	4,600	+200	+4.5%	+13.8%
- オラデオカプセル	1,950	▲320	▲14.1%	+26.1%
- その他	770	▲10	▲1.3%	▲15.4%

ビオスリー

- 上半期の実績を踏まえ、上方修正

オラデオカプセル

- 成長期段階にあり、前年度と比較して伸長しているものの、想定以上の競合品影響等により、下方修正

AGENDA

- 2024年度第2四半期 実績
- 2024年度業績 修正予想
- **ビジネスアップデート**
- コーポレートガバナンスの状況
- CLOSING REMARKS

ブイタマークリーム：製造販売承認の取得

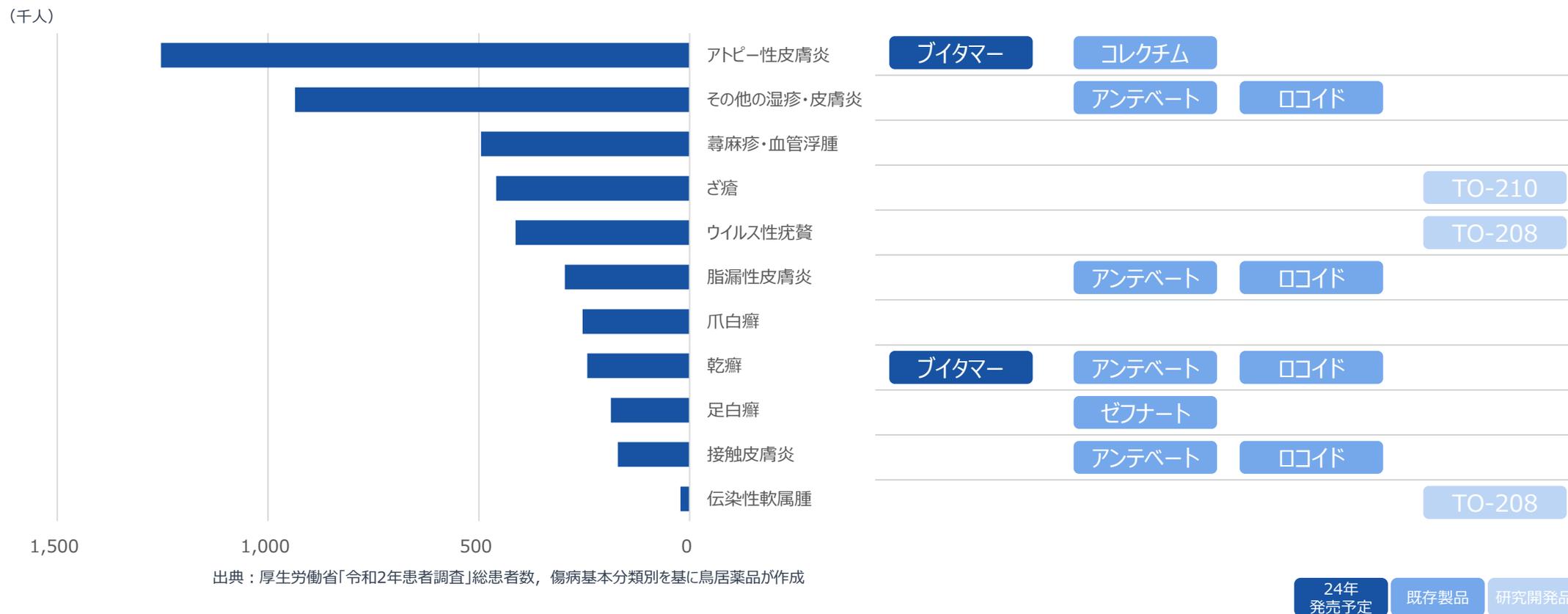
- アトピー性皮膚炎及び尋常性乾癬を適応症とする「ブイタマークリーム1%」について、24年6月にJTが日本国内における製造販売承認を取得

	ブイタマークリーム	(参考) コレクチム軟膏
適応症	アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬	アトピー性皮膚炎
作用機序	芳香族炭化水素受容体 (AhR) を標的とした新規化合物含有の薬剤	JAK阻害剤
剤型	クリーム剤	軟膏
用法	1日1回	1日2回

ブイタマークリーム：皮膚疾患領域における製品ポートフォリオの強化

■ 「ブイタマークリーム」を通して、皮膚疾患領域における製品ポートフォリオを強化

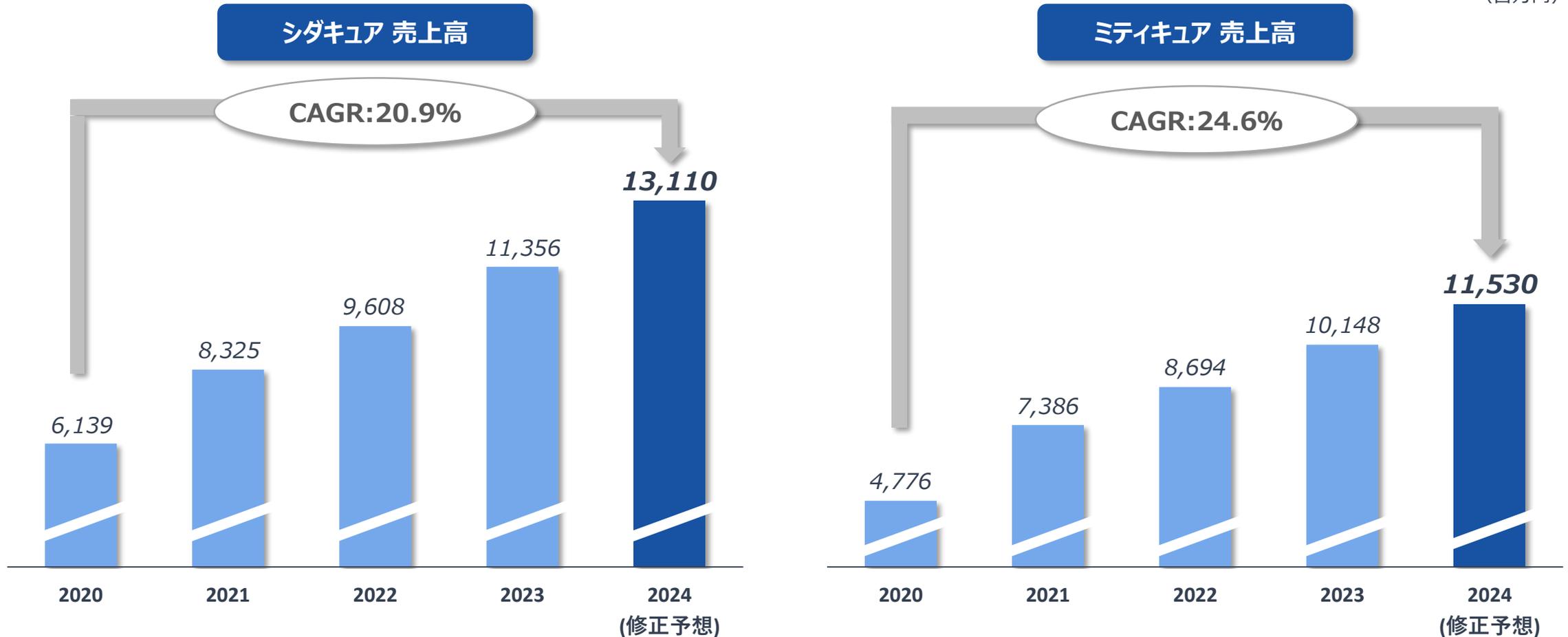
皮膚疾患領域における製品ポートフォリオ



アレルギー領域：シダキュア・ミティキュアの成長

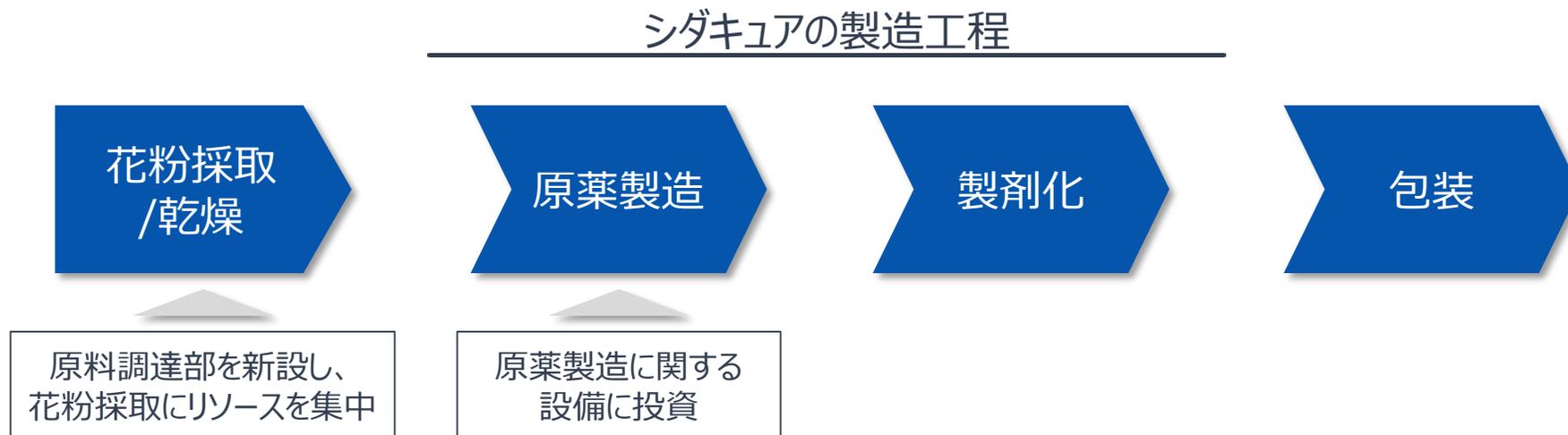
- アレルギー領域は、成長ドライバーの一つとして、過去数年間、力強い伸長を継続
- アレルギー免疫療法の更なる浸透及びシダキュア増産に引き続き積極的に取り組む

(百万円)



アレルギー領域：シダキュア増産に向けた取り組み

- 増産に向け、花粉採取と原薬製造の工程にリソースを投下。新たな原薬製造設備の稼働は25年を予定
- 当初予定通り24年内は、限定出荷となる見通し



2024年のKey Topics

- ✓ 花粉採取 : 計画通りの量を確保
- ✓ 新たな原薬製造設備 : 足元は順調に工事は進捗。稼働のタイミングは当初計画通りの25年を予定
- ✓ 将来的な需給の見通し : 引き続き注視・精査。本決算のタイミングで25年の見通しをお示しする予定

売上原価の増加要因と今後の見通し

売上原価の増加要因

- 2024年第2四半期の売上原価は、前年同期と比較して約19億円増加。増加要因は以下の通り
 - 数量増加影響 : 約13億円【約65%】
 - 仕入れ単価増加影響（為替影響含む） : 約 6億円【約30%】
 - その他 : 約 1億円【約 5%】

今後の売上原価の見通し

- 当面の間、厳しい事業環境が継続する見通し
- 足元の為替動向を踏まえ、残期間の為替前提はEUR=175円に修正（前回予想時点はEUR=160円）

今後の対応

- 事業環境に即した適切なコスト構造とするべく、取引先各社と協業のもと引き続き検討を行う
- 売上原価のみではなく、コスト全体で効率的な施策の取り組みや経費の執行を実現することにより、営業利益率(研究開発費控除前)の改善を目指す

2023-2027年の集中的な事業投資期間における投資の状況

- 24年6月末時点での具体的な投資予定額は約160億円（うち支払済/支払確定は約55億円）
- 中長期的な持続的成長を実現するべく、引き続き積極的な事業投資を実施していく

主な投資案件	金額	進捗
<p>新規導入品の獲得</p> <p>尋常性ざ瘡治療薬（TO-210）のライセンス契約締結に伴う契約一時金</p>	約16億円	支払済
<p>開発品・既存品の価値最大化</p> <p>シダキュア販売数量増加に対応するための原薬製造にかかる設備投資</p>	約30億円	意思決定済/一部支払済
<p>伝染性軟属腫及び尋常性疣贅を対象とした皮膚疾患治療薬（TO-208）の開発等の進捗に応じたマイルストーン</p>	総額 約100億円	開発進捗に応じて、支払予定
<p>尋常性ざ瘡治療薬（TO-210）の開発等の進捗に応じたマイルストーン</p>		
<p>イネ科花粉症に対するアレルギー免疫療法薬(GRAZAX)の開発等の進捗に応じたマイルストーン</p>		

*2024年6月までに意思決定を行った主な投資案件のみを記載しております。また、支払いを実施するタイミングについては、案件ごとに異なります。なお、マイルストーンに関する支払いは、開発状況によっては、支払いが行われない場合もあります。また支払いタイミングの為替レート次第で、日本円による支払い金額が変わる可能性もあります。

開発パイプライン

■ TO-210 : Phase I 開始 (4月) 、ブイタマー : アトピー性皮膚炎及び尋常性乾癬が承認 (6月)

	患者さんへ提供する価値	ライセンス 契約締結	開発段階					
			Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認	
皮膚疾患領域	JTE-061 「ブイタマー」	アトピー性皮膚炎	※					
		尋常性乾癬	※					
		小児アトピー性皮膚炎	※					
	TO-208	伝染性軟属腫						
		尋常性疣贅						
	TO-210	尋常性ざ瘡						
アレルギー領域	ミティキュア ダニ舌下錠	室内塵ダニアレルギー疾患 (アレルギー性喘息) (アレルギー免疫療法薬)						
	GRAZAX	イネ科花粉を原因抗原とする 花粉症						

※JTとDermavant社間のライセンス契約

完了 進行中

AGENDA

- 2024年度第2四半期 実績
- 2024年度業績 修正予想
- ビジネスアップデート
- **コーポレートガバナンスの状況**
- CLOSING REMARKS

コーポレートガバナンスの状況

- 24年3月より新たな機関設計及び取締役会メンバーに移行。引き続きコーポレートガバナンスの強化に取り組む

監査等委員会設置会社への移行

- ✓ 監査等委員会の3名のメンバー全員を独立社外取締役とすることで、取締役会に対する監査・監督機能をより一層強化
- ✓ 任意の指名・報酬諮問委員会を、独立社外取締役3名の構成で設置し、取締役及び執行役員への指名・報酬に関する審議をより充実させるとともに、手続きの透明性・客観性・公正性が更に向上

新社外取締役

- ✓ 社外取締役として、新たに松村 卓治、真鍋 美穂子、藤田 研一の3名が就任
- ✓ それぞれに異なるバックグラウンドを有し、多様な専門性・経験を備えたバランスのとれた取締役会の構成を実現

代表取締役2名体制

- ✓ 代表取締役副社長として、新たに近藤 紳雅が就任
- ✓ 経営上の課題に対し、これまで以上に適切かつ迅速に対処することができるのと同時に、全社的視点で判断し、業務執行する機能を強化

取締役会メンバー



代表取締役社長
松田 剛一

代表取締役副社長
近藤 紳雅

社外取締役
監査等委員
松村 卓治

社外取締役
監査等委員
真鍋 美穂子

社外取締役
監査等委員
藤田 研一

「統合報告書2023」発行

- ✓ 本年よりアニュアルレポートを廃止し、「統合報告書2023」を発行
<https://www.torii.co.jp/ir/library/annual/>



AGENDA

- 2024年度第2四半期 実績
- 2024年度業績 修正予想
- ビジネスアップデート
- コーポレートガバナンスの状況
- **CLOSING REMARKS**

CLOSING REMARKS

2024年度第2四半期 実績

- ✓ 厳しい事業環境においても、売上高及び研究開発費控除前営業利益の力強い成長を実現

2024年度業績 修正予想

- ✓ 売上高、各利益指標全ての上方修正を実施

ビジネスアップデート

- ✓ ブイタマークリーム1%の製造販売承認の取得により、皮膚疾患領域における製品ポートフォリオの更なる強化を実現

株主還元

- ✓ 一株当たり120円の年間配当金(予定)に変更なし

重要な注意事項

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおります。当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

医薬品（開発品を含む）に関する情報が含まれていますが、それらは宣伝・広告や医学的なアドバイスを目的とするものではありません。



鳥居薬品の志

患者さんとそのご家族や医療に携わる方々に誠実に向き合い、
患者さんの健康回復と、病に縛られない豊かで笑顔多い人生に貢献する

長い歴史の中で培った皆様からの信頼を受け継ぎながら、
時代や環境に合わせて柔軟に変革・進化し、
私たちだからこそ出来る医療への貢献に挑戦し続ける